

まちと公共施設の未来をともに創造する
第2回小千谷リビングラボ（仮称）

■日時／2021年5月8日（土） 13:30 -16:30

■会場／総合産業会館サンプラザ3階大ホール

概要

現在、小千谷市では、旧小千谷総合病院跡地（本町1）に図書館等複合施設の整備を進めています。この事業では、施設の整備段階から、市民のみなさんと行政が新しい施設の活用方法や地域の価値・課題などについてともに考えていく場として「小千谷リビングラボ」（仮称）を立ち上げ、継続的な活動を通じてオープン後の施設活用と中心市街地の活性化につなげていくことを目指しています。今年3月に開催した第1回では、約70名の参加者でリビングラボのあり方や愛称について考えました。第2回となる今回は、公募により決まった設計者の株式会社平田晃久建築設計事務所（東京都）も加わり、提案内容についてご説明いただきながら、そこから想像する利用のイメージなどについてみんなで考えていきます。

タイムテーブル

事業説明・設計者の紹介	13:30-13:40
設計者自己紹介・提案内容について説明	13:40-14:05
愛称案の発表	14:05-14:10
オリエンテーション	14:10-14:25
自己紹介・アイスブレイク[グループワーク]	14:25-14:35
対話「おちや体験マップをつくろう！」[グループワーク]	14:35-15:25
（休憩 10分間）	
体験が実現するための問い出し[グループワーク]	15:35-16:05
全体共有	16:05-16:25
まとめ	16:25-16:30

みんなで新しくできる図書館等複合施設での体験を考えましょう！

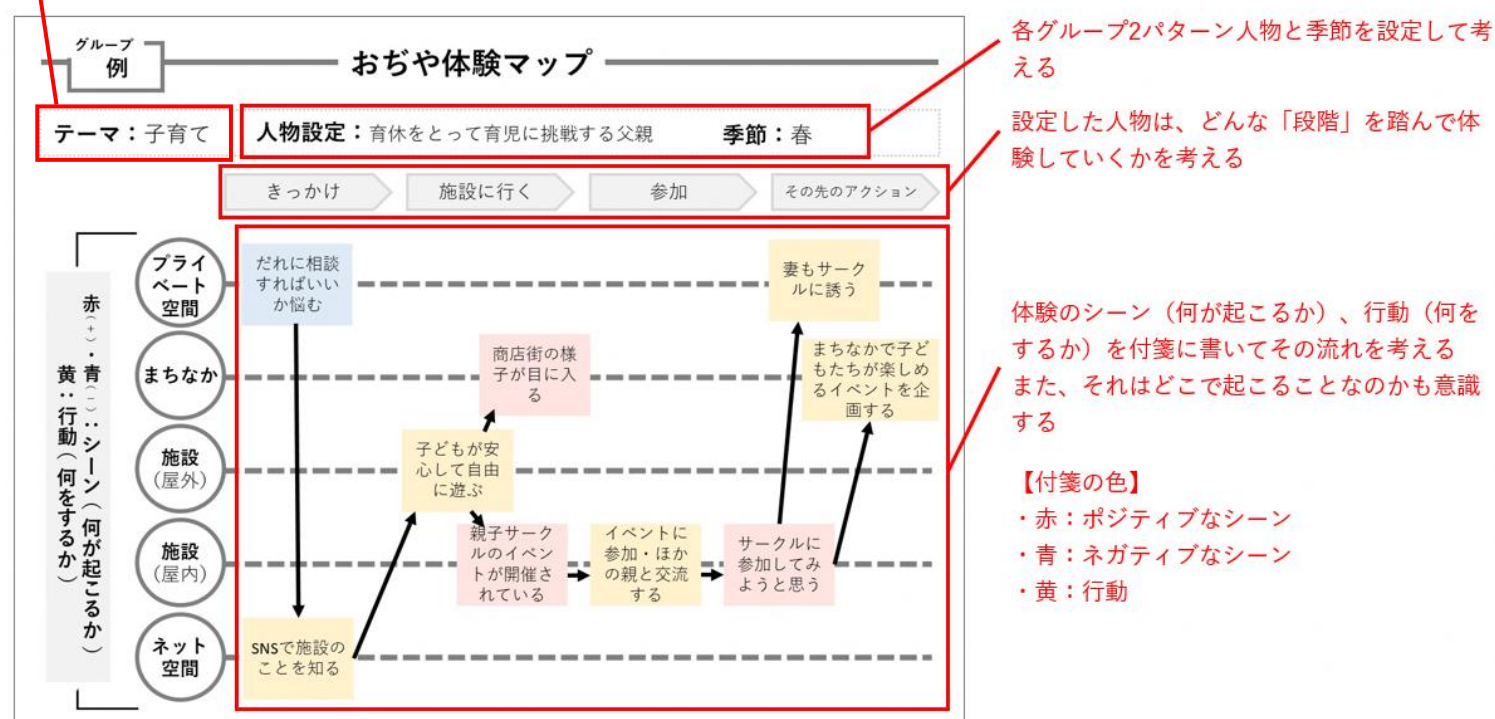
※つながる体験で考えてみる※

- みなさんの体験は、施設の体験だけがそれだけであるわけではなく、様々な場所での体験とつながっています。
- 新しくできる図書館等複合施設で、起こること、あるいはできたらいいなといった体験を想像するためには、こうしたつながる体験を考えることが大事です。

家、職場、学校、まちなか、インターネットなど

以下のテーマから、グループ内で一つ多数決で選ぶ

子育て 勉強・研究 交流 仕事



対話のルール

- 何を話してもいい。意見が変わってしまってもいい。
- 人の言うことに対して否定的な態度をとらない。
- ひととの対話の時間を大切する。発言は1回につき1分におさめる。
- 発言しないで黙って聞いて考えているだけでもいい。
- お互いに問いを投げかけることが大切。
- 知識ではなく、自分の経験にそくして話す。
- 話がまとまらなかつたり、わからなくなってもいい。
- みんなで黙ってもいい。
- まとめなくてもいい。